

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-055695

(43)Date of publication of application : 02.03.1989

(51)Int.Cl.

G07F 7/08

(21)Application number : 62-211475

(71)Applicant : SANDEN CORP

(22)Date of filing : 27.08.1987

(72)Inventor : CHIBA TAKASHI

(54) AUTOMATIC VENDING MACHINE

(57)Abstract:

PURPOSE: To enable an unregulated person to utilize an automatic vending machine(AVM) even in a selling-restricted time zone by releasing an unusable state when a previously engaged ID code is read out by a reader.

CONSTITUTION: A purchaser requiring selling at night presents an identification(ID) card to an AVM setting

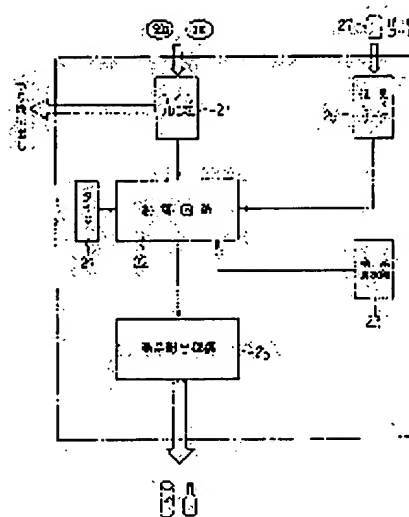
trader and registers the use of the AVM at night. The trader issues a magnetic card recording a code displaying the registrant. In a night restricted time zone, the user inserts the magnetic card into a card reader

fitted to the AVM. When a magnetic card reader 26 reads out the the ID card and if a control circuit 22

recognizes the registrant, the restriction of the AVM 1 is released and the AVM 1 is temporarily turned to be in a

normal operation state. Thereby, the user can charge coins and purchase a desired

commodity. When the magnetic card 27 is drawn out, the AVM 1 is restored to be in the night restricted state again.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-55695

⑮ Int. Cl.

G 07 F 7/08

識別記号

庁内整理番号

G-6929-3E

⑬ 公開 昭和64年(1989)3月2日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 自動販売機

⑯ 特 願 昭62-211475

⑰ 出 願 昭62(1987)8月27日

⑱ 発 明 者 千 葉 隆 群馬県伊勢崎市喜多町112の6

⑲ 出 願 人 サンデン株式会社 群馬県伊勢崎市寿町20番地

⑳ 代 理 人 弁理士 芦 田 坦 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

自動販売機

2. 特許請求の範囲

1. 特定の販売者層に対する販売を規制することを目的として利用不能時間を設定することが可能な自動販売機において、IDコード読取装置と、この読取装置により予め約束されたIDコードが読み取られた時、前記利用不能状態を解除する手段とを備えたことを特徴とする自動販売機。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は自動販売機に関し、特に酒類の未成年者への夜間販売規制のように特定の購売者に対する販売規制を目的とする自動販売機に関する。

〔従来の技術〕

酒類の自動販売機の夜間規制は、未成年者への

酒類販売を規制することが目的であり、販売機の設置業者間の自主規制や、地域によっては条例の定めによって行なわれている。

通常、このような夜間規制は、自動販売機を所定時間帯において機構的に利用不能にすることによって行なわれる。しかし自動販売機を全面的に利用不能とすることは、規制対象外の購売者にとっては不便であるばかりでなく、設置業者にとっても大きな損失となる。特に夜間規制の条例や規制のない地域に設置する自動販売機においても同様に全面的に利用不能とすることは必ずしも適切とは言えない。

〔発明の解決すべき問題点〕

本発明の目的は自動販売機を全面的に利用不能とすることによって生ずる上記の問題点を解決することにある。すなわち販売規制時間内においても規制対象外者に対しては自動販売機の利用を可能とすることを目的とするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、特定の販売者層に対する販売を規制

することを目的として利用不能時間を設定することが可能な自動販売機において、磁気カード、ICカードのようなIDカードに記録されたコード情報を読み取る装置と、この読取装置により予め登録される等約束されたIDコードが読み取られた時、前記利用不能状態を解除する手段を備え、これによって前記の目的を達成するものである。
〔実施例〕

第1図は本発明の自動販売機の外観を示す斜視図である。自動販売機1は前面部2上部に商品陳列部3を備えその下側に商品選択ボタン列4を備えている。さらに前面部下方には硬貨投入部5、商品搬出部6および磁気カードリーダー用のカード挿入部7を備えている。

第2図は第1図の自動販売機の内部構成を示すブロック図である。

コインメカニズム部21は第1図の硬貨投入部5から投入されたコインを受け入れ計数、つり銭の払い出し等を行なう機構部である。コインメカニズム部21のコイン受け入れに伴う情報は制御

り解除される。以下この夜間規制解除につき説明する。

先ず、夜間販売を希望する購売者は、自動販売機設置業者に身分証明書を提出し、夜間利用のための登録をする。設置業者は登録者を表示するコードを記録した磁気カード(IDカード)(第2図27)を発行する。利用者は夜間規制時間帯においてはその磁気カードを自動販売機に装備されたカードリーダーにその挿入部7から差し込む。磁気カードリーダー26でそのIDコードを読み取り、制御回路22で登録者であることを認知すると、販売機1の規制を解除し、一時的に通常の動作状態に置く。これによって利用者は硬貨を投入し希望する商品を購入できる。

磁気カード27を挿入部7より抜き取ると自動販売機1は再び夜間規制状態に復帰する。

上記実施例ではIDカードとして磁気カードの例を示したが、これに限定されるものではなくICカードその他の手段を用いることもできる。

以下余白

回路22に伝達される。商品選択部23は第1図の商品選択ボタン列4の選択信号が供給され、前記制御回路22に商品選択信号を伝達する。制御回路22にはタイマ24の時計信号が常時供給されている。商品搬出機構25には制御回路22からの搬出制御信号により指定された商品を第1図の商品搬出部6に搬出する機構部である。磁気カードリーダー部26は第1図のカード挿入部7に挿入された磁気カードを磁気的に読み取り、磁気カードに記録されたIDコードを電気信号に変換して制御部に伝達する。

〔作用〕

制御回路22はタイマ24からの時計信号を読み取り、時刻が予め制御回路22内に記憶された夜間規制時間帯に該当しない間は、通常の自動販売機の動作を行なう。この動作についてはすでに公知であるので説明は省略する。

次に夜間規制時間帯においては、通常の自動販売機の動作は制御回路22により停止されるが、この状態は磁気カードリーダー26からの信号によ

〔発明の効果〕

本発明によれば夜間規制中においても規制対象外者に自動販売機の利用が可能となり、設置業者にとっても規制による損失を最小限に止めることができる。

また本発明によればIDカードはあくまでも登録者の識別を目的として使用され、金券としての性格は全く持たせないため、セキュリティ上の問題がない他、装置的にもカード読取装置の付加のみで構成できるので、比較的安価に機能を実現できる。

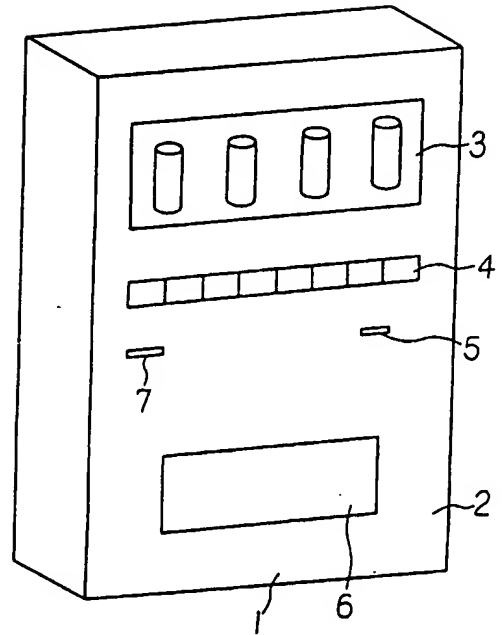
さらに使用するIDカードも安価な紙、PETカードを用いることができ、表面に販売商品あるいは商品メーカの広告を印刷することにより、宣伝効果も向上する等の波及効果も期待できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の自動販売機の外観を示す斜視図、第2図は第1図の自動販売機の内部構成を示すブロック図である。

1…自動販売機，2…自動販売機前面部，3…商品陳列部，4…商品選択ボタン列，5…硬貨投入部，6…商品搬出部，21…コインメカニズム部，22…制御回路，23…商品選択部，24…タイマ，25…商品搬出機構，26…磁気カードリーダ部，27…磁気カード。

第1図



代理人 (7783) 弁理士 池田 憲保



第2図

